



「はくぶつかん ○× クイズ」

【こた 答え】



やまがたけんりつはくぶつかん
山形県立博物館

1. **×** ブラジル産です。山形県にゆかりがあり、山形県名誉県民になっている免疫学者の石坂さんからいただいたものです。水晶に少しの鉄が混じると紫色になります。
2. **×** 国指定ではなく、山形県指定の天然記念物です。そろばん玉のように結晶する貴重な石です。小国町で採れたものを展示していますが、現在は採ることはできません。
3. **×** ヤマガタダイカイギュウより進化したクエスタカイギュウの方が、大きい頭の骨を持っています。ヤマガタダイカイギュウは、カイギュウ類の進化の途中を示す重要な化石です。
4. **○** サナギタケ、タンポタケモドキ、ミミカキタケなど6種類の冬虫夏草を展示しています。この他にも県内では、ハチタケやカメムシタケなどたくさんの種類が見られます。
5. **○** 山形県でよく見られる木々は、それぞれの性質を活かして、建物や家具やおもちゃなどの材料に使われます。
6. **○** 平成4(1992)年に、県民の投票によって県の魚に決定しました。川に住むヤマメが海に降ったものがサクラマスです。大人になるとまた川に戻ってきます。
7. **○** 全長45 cmは、日本一の大きさを誇ります。その大きさと美しさが認められ、平成24(2012)年に国宝に指定されました。国宝の土偶は、全国で5点しかありません。
8. **×** 初代山形藩主は、最上義光です。書状を書いた家信は、義光の孫で3代目藩主です。最上氏は家信の時に領地を没収され、その後の山形藩は、様々な大名が入れかわりで支配しました。
9. **○** 荷物を運ぶときに背負って使う道具です。ニセミノは「荷背負いみの」、バンドリは「ムササビ」の庄内方言、ヤセウマは「やせた馬一頭分」を背負えることが名前の由来とされています。
10. **×** 町人駕籠には、子どもはほとんど乗らなかったと考えられます。狭く見えますが、昔の人は身長が低かったので大人でも使えました。展示資料は大石田の商人が使っていたものです。